

第6学年 学級活動(3)指導案

令和6年10月23日(水)

6年 29名

1 題材「未来に向かって、よりよい自分を目指そう～卒業までの100日プロジェクト～」

(3)－ア 現在や将来に希望や目標をもって生きる意欲や態度の形成

2 題材について

(1) 児童の実態

本学級の児童（男子16名、女子13名）は、素直で明るく活発である。4月に「どんな学級にしたいか」について話し合い、「一人一人の人権を大切にできる学級にしよう」と決めた。人権学習を軸に4月からいじめについて深く考え、7月には学級活動(3)「いじめ0宣言」でいじめをなくすための行動目標を一人一人が決めた。委員会活動やクラブ活動においては、多くの児童が学校のリーダーとしての自覚をもち、他学年のサポートやお世話を進んで行っている。回数を重ねる中で、「自分たちのクラブでは、話を聴くことをはじめとする、クラブ活動での態度がよくないと感じる」と話し、解決に向けて工夫している児童の姿も見られた。学級で「今以上の、よりよい集団」を目指して生活する中で、「今以上」「よりよくする」といった感覚が研ぎ澄まされていることを感じる。しかし、学級の係活動や当番活動、委員会活動で、一部の児童が友達任せにしたり、最後まで粘り強くやり遂げられなかったりする姿を見ることもあり、「今以上の自分」の姿を明確にする必要があることも感じる。

(2) 題材設定の理由

・題材設定の理由

学級活動(3)では、これまでに「〇〇小の6年生として」、「いじめ0宣言」について学習してきた。その学習の中で、児童は「なりたい自分」の姿を思い描き、今からできることや頑張りたいことを意思決定して実践につなげる経験をしてきた。本題材では、協働することの意義を理解し、自己の役割を改めて自覚するとともに、集団の一員として役割を果たすために必要なことを主体的に考え、行動できるようにすることをねらいとしている。6年生としてのこれまでの生活に自信をもち、それぞれが「今以上の自分」を目指すことで、「よりよい集団」として卒業に向けて集団としても更なる活躍を見せてくれることを期待し、本題材を設定した。

・本題材における指導の工夫と評価との関わり

「つかむ」では、「4月からの半年での自分の変容」や「影響を与えた人物」、「目指す理想の姿」など事前に児童一人一人に調査し、半年間の学校生活の様子についての現状を振り返ることができるようにする。

「さぐる」では、学級の仲間から見た自分のよさや変容について知り、「自分も友達も」大切にするという視点から学級の一員としての役割を考えるよう促す。また、本校の卒業生である教頭から、6年生のときの頑張りが今の仕事や生活にどのように関係しているのかという視点で撮影した動画を視聴する機会を設け、さらに「なりたい自分」の姿の明確化を図る。

「見つける」では、「卒業式の日になどどのような自分でありたいか」を考え、そのような自分にな

るためには、これから何をしていくのかについて、話し合い活動による集団思考を生かしながら具体的な目標を考えることができるようにする。

そして、「決める」で、考えた卒業式の日自分に近づくために、残り100日間で自分が取り組んでいくことを行動目標として決める。「なりたい自分」の姿を目指す実践に、学級全員で励まし合いながら取り組んでほしいと願い、本時では、一人一人の達成目標を全員が発表し合い、お互いの思いを大切にできるようにする。

(3) 指導にあたって

小学校卒業や中学校入学を意識し始めるこの時期に、卒業式の日、どのような自分でありたいかといった明確な姿を意識して実践することで、目標をもって日々の生活を過ごすことが成長につながることを実感させたい。本学級の児童は、「人権を大切にする学級にしよう」とみんなで話し合っていて気持ちを一つにし、「今以上の自分を目指す」ことをそれぞれの目標としてきた。事前のアンケートでは、そのめあての実現を目指すために、それぞれが自分の中で意識してきたこと、出来ていること、出来ていないこと、意識できていないことを改めて整理できるようにする。また、今回は自分の振り返りだけではなく、半年間、共に過ごした学級の仲間からのアンケートをもとに、自分が学級の仲間からどのように見えているかを知り、日々の頑張りを認めてくれている回答を見て、自分のよさを改めて感じてほしい。そして、卒業式当日のなりたい自分に近づくために、自分のよさを生かしてこれからどのようなことに取り組んでいくのかという、今の自分の具体的なめあてを考え、明日への実践への意欲を高めたい。

3 活動の流れと指導上の留意点・評価規準

	活動内容	時間	指導上の留意点	評価規準
事前の活動	Web アンケートに記入し、4月からこれまでを振り返ったり、卒業に向けての期待感を想起したりする。	9/24～10/10	<ul style="list-style-type: none"> ・4月の話し合いや7月の「いじめ0宣言」を経て、自分の考えの変遷に気付くようにする。 ・学級全員のよさを各自に聞く。 	◎6年生としてのこれまでの生活を振り返ったり、卒業に向けての期待感を抱いたりして、本時の学習への見通しをもとうとしている。 (主体的態度)
本時	「未来に向かって、よりよい自分を目指すそう～卒業までの100日プロジェクト～」	10/23(水) (本時)	本時の活動に記載	
事後の活動	意思決定した宣言内容を意識して実践する。	10/23～ 1月末	・「なりたい自分」を目指して実践への意欲を高めることができるように定期的に	◎学級の仲間と励まし合いながら、意思決定したことを実践している。 (思考・判断・表現)

	実践について振り返り、目標の再設定をする。	2/1～2/14	<p>振り返る機会を設ける。</p> <p>・継続した実践になるようにしたり、必要に応じて新たに取り組みを増やしたりできるようにする。</p>	<p>◎実践を振り返り、現在及び将来に向けての学校生活や日常生活に生かそうとしている。</p> <p>(主体的態度)</p>
--	-----------------------	----------	---	--

4 本時の活動

(1) ねらい

これまでの学校生活を振り返り、卒業式当日のなりたい自分に近づくために必要なことを考え、話合いを生かして自分に合った具体的な行動目標を決めることができるようにする。

(2) 展 開

児童の活動	指導上の留意点	目指す児童の姿と評価方法
1 体育館（卒業式会場）の入り口に立ち、今日から卒業まで 100 日間であることを知る。	・体育館の入り口で、卒業式当日をどのような自分で迎えたいか、在校生や親にどのような表情を自分に向けてほしいか考えられるようにする。	
<div>教室へ移動</div> 2 自分の 4 月からこれまでの振り返り結果から、半年間の学校生活についての現状を知る。（つかむ）	・半年を振り返った結果をもとにして、自分の成長に気付くことができるようにする。	
<div>未来に向かって、よりよい自分を目指そう～卒業までの 100 日プロジェクト～</div>		
3 学級の仲間からのアンケートを提示し、学級の一員としての役割を考える。（さぐる）	・頑張っているところに着目するとともに、お互いのよさを認め合えるようにする。そのために、学級の仲間からのアンケート結果を発表し、自分のよさに気付かせる。	
本校教頭のメッセージ動画を視聴する。（さぐる）	・本校の卒業生である教頭に 6 年生のときの頑張りが今の仕事や生活にどのように関係しているのかという視点で撮影したメッセージ動画を視聴し、「なりたい自分」の姿を明確にできるようにする。	◎「なりたい自分」の姿を明確にし、そのために必要なことについて考え、前向きに話し合っている。 （思考・判断・表現） 〈観察〉
4 「どのような自分で卒業式を迎えたいか」についてイメージしたことから自分の大切にしたいこととは何かを考える。（見つける）	・出てきた意見を掲示し、具体的な行動目標を考える際の参考にできるようにする。	◎それぞれの考えを話し合ったことを生かして、自分が実践することを意思決定している。 （思考・判断・表現） 〈ワークシート・発表〉
5 3 で見えてきた未来の自分に近づくために、今の自分が取り組むことを決める。（決める）	・4 の話合いで出た意見などを生かして、自分に合った具体的な行動目標についてワークシートに記入するよう伝える。	
6 自分の行動目標を発表し合う。	・全員が発表できなかった際には、帰りの会を利用し、学級全員の目標を聴き合う機会を設ける。	



なりたい自分・行動目標を書こう

行動計画



卒業のときの自分

未来の自分

今の自分